

- 問1 かつての日本では北海道や九州などの炭鉱で石炭の採掘が盛んに行われていましたが、現在ではその需要のほとんどを海外からの輸入に頼っています。このように石炭の供給体制が国内産から外国産へと大きく変化した主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 広島県公立入試 類似）
1. 国内産の石炭は燃焼時の二酸化炭素排出量が外国産よりも極めて多いため、環境保護を目的とした法律で輸入が義務付けられたため。
 2. 大規模な露天掘りなどが行われる海外の炭鉱に比べ、採掘条件が悪化した国内産の石炭は価格が高くなり、安価な外国産が選ばれたため。
 3. 石油から石炭へのエネルギー革命が起こったことで、国内の生産量だけでは急増するエネルギー需要を賄いきれなくなったため。
 4. 1960年代の高度経済成長期に国内の石炭資源が完全に底をつき、物理的に採掘を継続することが不可能になったため。
- 問2 日本の漁業は、かつての「獲る漁業」から、人工的な管理を行う「育てる漁業」へとその比重を移しています。海や池にいけすやいかだを設置し、卵や稚魚から出荷に適した大きさに成長するまで一貫して人工的に管理する漁業の名称を選択してください。（2019年 香川県公立入試 類似）
1. 養殖業
 2. 沖合漁業
 3. 栽培漁業
 4. 遠洋漁業
- 問3 日本の貿易統計において、電子機器などの材料となる銅鉱の輸入額が4,244億円と最も多く、南米大陸の太平洋側に位置する産銅国はどこですか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）
1. サウジアラビア
 2. ペルー
 3. チリ
 4. オーストラリア
- 問4 日本の鉱産資源の輸入状況について、原油の輸入割合において上位2か国を占めている中東の国の組み合わせとして正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
1. カタールとサウジアラビア
 2. サウジアラビアとアラブ首長国連邦
 3. オーストラリアとインドネシア
 4. オーストラリアとブラジル
- 問5 ビニルハウスや温室を利用して野菜や花などを栽培する施設園芸は、季節を問わず出荷できる利点がある一方で、特有の経営上の課題を抱えています。露地栽培と施設園芸の経営費の内訳を比較した際、施設園芸において特に高い割合を占め、近年の燃料価格の上昇が農家の経営に大きな打撃を与えている要因として最も適切なものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. ビニルハウス内の温度を維持するために必要な動力光熱費
 2. 害虫や病気を防ぐために散布する薬剤にかかる肥料・農薬費
 3. 収穫や袋詰め作業などのために雇った人々に支払う人件費
 4. 苗や種子を購入するために必要な種苗費
- 問6 長野県の野辺山原のような標高の高い地域では、夏の気温が平地に比べて低いという気候条件を活かして、他の地域での生産が難しい夏から秋にかけてレタスなどの高原野菜を出荷しています。このように、自然環境を利用して出荷時期を遅らせる栽培方法を何といいますか。（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 抑制栽培
 2. 近郊農業
 3. 二毛作
 4. 促成栽培
- 問7 日本の諸地域における農業生産額の部門別内訳を比較した際、米、野菜、畜産、果実などの項目のうち、「米」が占める割合が約5割に達し、他地域と比べて圧倒的に高い割合を示している地方はどこですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）
1. 九州地方
 2. 関東地方
 3. 東北地方
 4. 中部地方
- 問8 日本の農業における耕地面積の規模と、新技術導入のコストの関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）
1. 耕地面積の規模が小さくなるほど、機械利用などにかかる面積あたりの経費が上昇する傾向がある。
 2. 農業機械の導入コストは耕地面積の大きさに完全に比例するため、面積が小さいほど負担も軽くなる。
 3. 日本の農家の過半数は大規模経営であるため、新技術の導入によるコスト負担の問題は解消されている。
 4. 耕地面積が小さい農家ほど、少ない投資で最新の農業機械を効率よく使いこなせることが統計で示されている。
- 問9 集積回路（IC）は製品が小型で軽量ながら、非常に高価であるという特徴があります。このような特徴を持つ製品の製造工場が、立地場所として選ぶことが多い条件はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 迅速な輸送を可能にする、空港や高速道路のインターチェンジに近い場所
 2. 製造過程で大量の電気を消費するため、発電所に近い安価な電力が得られる場所
 3. 加工に必要な大量の工業用水を確保しやすい、大きな河川の下流地域
 4. 原材料の輸入や製品の大量輸出に便利な、水深の深い港がある臨海部
- 問10 札幌市などの卸売市場において、北海道産の出荷が減少する冬から春の時期に、宮崎県などの温暖な気候を活かして野菜を栽培し、市場へ出荷する栽培方法を何というか。（2019年 北海道公立入試 類似）
1. 近郊農業
 2. 抑制栽培
 3. 促成栽培
 4. 園芸農業
- 問11 東京国際空港（羽田空港）の貨物輸送における特徴について、他の主要空港と比較して説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）
1. 国際貨物の輸送を主目的として建設されたため、国内線の貨物取扱はほとんど行われていない。
 2. アジア近隣諸国からの肉類や魚介類といった食料品の輸入拠点としての性格が最も強い。
 3. 日本の航空物流の要所であり、国内線貨物の取扱量が他の空港と比較して突出して多い。
 4. 輸出入総額が国内の空港の中で最も高く、主に半導体などの電子部品の貿易に特化している。
- 問12 日本の都道府県別人口密度に関する統計において、東京都、大阪府、愛知県などの地域に共通して見られる、地形や数値上の特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 平野部を中心に、1平方キロメートルあたりの人口が1000人以上の高い数値を示している
 2. 広大な土地を持つ北海道のように、人口密度が低く抑えられている
 3. 山岳地帯が多く、1平方キロメートルあたりの人口が190人未満の低い数値を示している
 4. 第一次産業の就業者が多く、老年人口の割合が全国で最も高い数値を示している
- 問13 日本の瀬戸内地方などは、年間を通じて降水量が少なく日照時間が長いという気候の特色があります。こうした地域で、かつて塩の生産に使われていた広大で平坦な土地である「塩田の跡地」を活用して積極的に導入されている、二酸化炭素を排出しない発電方式はどれですか。（2022年 静岡県公立入試 類似）
1. 地下から噴き出す蒸気を利用してタービンを回す地熱発電
 2. ウランの核分裂によって発生する熱を利用する原子力発電
 3. 石炭や天然ガスを燃やして熱エネルギーを得る火力発電
 4. 太陽の光エネルギーを直接電気に変換する太陽光発電